

平成30年7月2日

西脇市長 片山象三様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 直田春夫

西脇市地区まちづくり実践補助事業の審査結果の答申について

西脇市地区まちづくり実践補助金交付規程に基づき、平成30年度前期申請について、平成30年6月29日開催の当部会において審査した結果、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市まちづくり推進審議会の意見として答申します。

記

団体名	事業名	事業費	補助金額	補助率
西脇地区コミュニティ活動推進協議会	総務部会	637,000	107,700	50
	文化部会	454,640	188,500	25.50
	体育部会	320,000	70,000	25.50
	環境保全部会	132,600	64,800	50
	事業運営委員会	472,500	26,200	50
	事務局	150,700	17,800	50
合計		2,167,440	475,000	
西脇区まちづくり委員会（前期分）	環境部会	163,400	123,900	50.100
	生活情報部会	36,000	18,000	50
	地区整備部会	470,843	314,620	50.100
	事務局	338,550	91,280	25.50
	川下神社夏祭り	221,130	110,200	50
合計		1,229,923	658,000	
生き生きTUM A協議会	全体会	642,630	160,315	50
	あじさいクラブ	99,000	83,000	50.100
	広報研修部	249,000	113,250	25.50
	生活環境部会	13,000	5,000	50
	文化体育部会	145,000	69,000	50.100
	その他事務経費	212,000	89,435	50
合計		1,360,630	520,000	

団体名	事業名	事業費	補助金額	補助率
よいとこちがうか 日野の里推進委員 会	農業体験交流	30,000	15,000	50
	日野っ子見守り隊	20,000	9,000	50
	納涼祭	360,000	100,000	50
	ふれあいフェスティバル	310,000	55,000	50
	桜保全事業	130,000	35,000	50.100
	安心安全のまちづくり	20,000	10,000	50
	青少年健全育成講演会	55,000	27,500	50
	腰痛予防教室	15,000	5,000	50
	美化作業	30,000	13,500	50
	遥拝登山	80,000	12,500	50
	運営費	100,000	44,500	50
合計		1,150,000	327,000	
重春まちづくり協 議会	頼政祭り	100,570	46,000	50.100
	景観作り	15,380	15,000	100
	住民交流ハイキング	25,000	17,500	50.100
	看板設置	20,000	20,000	100
	広報発行	50,000	25,000	50
	事務費	7,000	3,500	50
合計		217,950	127,000	
野村地区まちづく り推進協議会	まちづくり推進	690,000	226,000	25.50
	球技大会	238,000	81,500	50
	文化祭	240,000	40,000	50
	秋祭り	640,000	70,000	50
	サークル活動	100,000	32,500	25.50
	長寿いきいき費	145,000	72,500	50
	広報費	642,000	321,000	50
	花いっぱい	125,000	122,500	50.100
	イベント	420,000	190,000	50
	安全対策	10,000	5,000	50
合計		3,250,000	1,161,000	

団体名	事業名	事業費	補助金額	補助率
芳田ふれあい会議	代表者会議	250,000	31,500	50.100
	プロジェクト部会	35,000	31,500	50.100
	地域活性部会	432,000	126,500	50.100
	安心・安全部会	17,000	7,500	50.100
	イベント部会	196,000	68,500	50
	各部会共通	5,000	2,500	50
	その他	24,000	12,000	50
	事務局	60,000	30,000	50
合計		1,019,000	310,000	
総計		10,394,943	3,578,000	

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙補助充当表のとおりとする。

H30地区まちづくり実践補助事業企画書概要一覧表

団体・事業名・事業期間・事業費	事業目的	活動内容	事業効果・今後の展開	特記事項
団体名：西脇地区コミュニティ活動推進協議会 事業名：西脇地区コミュニティ活動推進事業 実施期間：H30. 4. 1～H31. 3. 31 事業費：2,167,440円 交付要望額：490,300円	区民によるコミュニティ活動を推進し、新しい地域的な連帯感に支えられ、近隣社会をつくるため、コミュニティ活動を展開する。	①総務部会 ・コミセン日より、コミセンかわら版の発行、コミセンバスツアーの実施 ②文化部会 ・コミセンまつり、区民カラオケ大会、料理教室（3回）、フラワーアレンジメント等の実施 ③体育部会 ・グラウンドゴルフ大会、うきうきのびのび健康体操 ④環境保全部会 ・イルミネーション電飾、花のある街づくり、とんど焼きの実施 ⑤事業運営委員会 ・精霊流し、セントラルカーニバルの実施	事業効果 コミュニティ活動の展開により、地域内の住民相互の交流を深めることができる。 「とんど焼き」や「精霊流し」など、日本の伝統行事を実施することで、若い世代に引き継ぐことができるとともに、世代間交流の場ともなる。また、高齢化率が市内で一番進んでいる地区であることから、グラウンドゴルフ大会やうきうきのびのび健康体操などを通じ、区民の健康づくりや介護予防などを図る。 今後の展開 文化・体育及びレクリエーション活動のさらなる充実と明るい地域づくりを行う。	
団体名：西脇区まちづくり委員会 事業名：西脇区まちづくり計画実践活動事業（前期分） 実施期間：H30. 4. 1～H30. 9. 30 事業費：1,229,923円 交付要望額：658,720円	自分たちの住む地区を少しでも良くしていこうと策定した西脇区まちづくり計画の実現に向け、小さなことでもできることから実践をしていく。そして、活動を通じて、希薄化するコミュニティの再生と安全で安心して住めるまちづくりを目指す。	①全体会 ・童子山公園整備、コミセンひろば整備など ②地区整備部会 ・ふれあい交流館の管理運営などの高齢化対策 ③生活・情報部会 ・あいさつ運動、しばざくら花壇の維持管理 ④環境部会 ・童子山わらべ滝周辺整備、花植え、童子山スケッチ、犬のフン対策など ⑤川下神社夏祭り ・川下神社夏祭りの実施	事業効果 事業全体を通じて、小さなことでもできることから実施していくことで、「自分たちのまちは自分たちの手でよくしていく」という自立の精神と協働の中でのコミュニティの重要性を育むことができる。 今後の展開 計画の実現に向け、できることから少しずつ進めていくことで、区民一人ひとりがまちづくりに対しての達成感や充実感を共有できることを目標として活動を進める。	童子山公園整備に関しては、市の財産である童子山を区民の手で美しくすることにより、区民をはじめ市民に身近に感じてもらい、自然に触れられる場・憩いの場・安らぎの場になることを目指している。市のシンボルとも言える童子山整備に関しては、労力等については区民が協力して実施するが、事業実施に係る経費については全額市補助金で賄えるよう要望する。
団体名：生き生きTUMA協議会 事業名：生き生きTUMA協議会事業 実施期間：H30. 4. 1～H31. 3. 31 事業費：1,360,630円 交付要望額：520,000円	自然に恵まれた環境を守り育て、住民が安全・安心で住み続けたいと思えるまちづくりを目指す「地区まちづくり計画」の実現に向けて事業を展開する。	①全大会 ・天神池鯉のぼり揚げ ・都麻乃郷あじさいまつり ・西脇子午線マラソン「へその市」出店 ・第2回「秋こいフェスティバル」の実施 ・まちづくり視察研修 ・行動計画実現トライアル ・津万地区地域自治協議会設立に向けての検討など ②あじさいクラブ ・あじさい苗の育成、植栽・販売 ③カフェ部 ・TUMAこいカフェの運営 ④広報研修部会 ・広報誌発行(年3回)・講演会の開催、研修の実施 ⑤生活環境部会 ・防災訓練 ・通学路の点検・清掃 ・へその西脇織物まつり花火大会の後片付け ⑥文化体育部会 ・八日山つつじ花見登山 ・津万の里ウォーキング ・八日山登山道整備 ・津万地区歴史探訪	事業効果 安全・安心のまちづくりの推進 住民の連帯感の醸成 地域の活性化等につなげることができる。 今後の展開 区長会等からの補助金を柱にしながらかも、活動の中で財源を生み出す工夫をしつつ、より活発な事業展開を図っていききたいと考える。	あじさい苗の育成や八日山登山道整備につきましては自然とふれあい、安らぎの場として提供できるよう整備を行っている。整備に係る労力は皆で協力し実施するが、原材料費等については一部2分の1を超えて申請をする。
団体名：よいとちがうか日野の里推進委員会 事業名：よいとちがうか日野の里推進委員会事業 実施期間：H30. 4. 1～H31. 3. 31 事業費：1,150,000円 交付要望額：327,500円	日野地区区長会をはじめ、日野地区内の多様な団体、グループ等が連携・協力し、日野地区住民の誰もが安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進するため、必要な事業を実施する。	①農業体験交流 ・日野小学校児童を対象に農業体験事業を実施 ②日野の里ふれあいフェスティバル ・書、絵画等作品展や舞台発表、人権講演会など ③桜保全事業 ・日野地区のシンボルである「日野の郷地蔵一本桜」及び日野地区内の桜の保全、桜まつりの開催 ④腰痛予防体操 ・簡単にできる毎日の健康づくりを紹介 ⑤まちの美化清掃活動 ・ゴミ拾い等の清掃活動などまちの環境美化を実施 ⑥元旦遥拝登山 ・日野坂本線の峠において初日の出を拝する ⑦青少年健全育成講演会 ・地域の宝である青少年の健全育成を図るための講演会を実施 ○その他納涼祭、日野っ子見守り隊事業の実施 ほか	事業効果 地区内の各種団体が連携・協力して活動することにより、地域コミュニティの活性化を図るとともに、自分たちの地域は自分たちで守るという意識が広がることにより地域自治の推進が期待できる。 今後の展開 地域のまちづくり活動において、コミュニティビジネス的な手法を用いることにより、持続可能な活動を展開する。	桜保全事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、補助率2分の1を超えた補助を要望する。

<p>団体名：重春まちづくり協議会 事業名：重春まちづくり事業 実施期間：H30. 4. 1～H31. 3. 31 事業費：217,950円 交付要望額：127,000円</p>	<p>重春地区は、比較的人口減少が進んでいない地域であるが、その理由に他地区から移住される方が少なからずあることがあげられる。そのため、従来からそこに住む住民と、新しく来られた住民との融和が大きな課題であり、それに向けての「まちづくり」を目指している。 地域も南北の地区に分かれており、成り立ちも異なっているが、地区として連帯できる事業やシンボライズ的な事柄を中心に事業を推進している。 重春地区は、野村地区も含めて歴史的な史跡が豊かな地域であるため、それらの良さを広く知ってもらう事業の推進に努めていく。</p>	<p>①頼政まつり・歴史ハイキング ・地域の人々に「自然の豊かさ」や「歴史的な価値」を知ってもらう事業として“頼政まつりの弓道演武”“歴史ハイキング”などを実施する。 ※来年度は頼政まつりの40周年で、弓道の「四方射」を予定しており、今年度は「鎗矢の試射」を行う。 ②広報発行 ・将来に亘って「住んでよかった」と思ってもらえる重春地区を目指し、様々な情報の広報活動を行う。 ③景観づくり ・地区内のコスモスの生育 ④住民交流ハイキングの実施 ・地域の良さを知ってもらい、健康増進の習慣づくりのきっかけ作りも兼ねてハイキングを実施する。 ⑤看板設置 ・地区内の名所や史跡などについて、その良さを知ってもらうための案内看板を作成、設置していく。</p>	<p>事業の効果 重春地区は自然と歴史の豊かな地域であり、それを住民はもちろん、他地区の方々や、市外の方にも実感してもらえる。 重春地区をはじめ、他の地域の方も含めて協働と連帯の広がりや人の融和を深めることができる。 今後の展開 色々なまちづくり事業を継続することにより、世代を超えた相互理解を深めることができる。そのため、多くの方に事業に関する価値を知ってもらえるよう情報を発信していく。 来年度は頼政まつりが40周年の区切りを迎えるため、弓道の“四方射”の実施を予定している。</p>	<p>地域の史跡や名所等の案内看板の整備といった事業を計画しており、事業の実施に当たっては地域の有志の方に労力を提供してもらう。そのため、整備に関する原材料費については補助率2分の1を超えた補助金で賄えるよう要望する。</p>
<p>団体名：野村地区まちづくり推進協議会 事業名：平成30年度まちづくり事業 実施期間：H30. 4. 1～H31. 3. 31 事業費：3,250,000円 交付要望額：1,161,500円</p>	<p>ソフトボールやバレーボール（球技大会）、文化祭、秋祭り、パソコン勉強会、茶道教室・カラオケ（サークル活動）敬老会、いきいきサロンなど多様な事業を通して、野村地区の多世代のコミュニケーションを深め、また、野村大橋や西脇市駅、野村公園などへの植栽を中心とした花いっぱい運動や、年末年始の西脇市駅前のイルミネーション装飾の実施などを通して「文教地区として誇れる、こころかよいあう美しい野村」を住民が一致団結をしてつくり上げていく。 加えて、地区全体の防災訓練を実施し、安全で効率的な避難経路をみんなで確認し、習得することを通して町民の防災・減災意識の高揚を図るなど、安全、安心のまちづくりを進めていく。</p>	<p>①まちづくり推進事業 ・まちづくり活動に関する消耗品費、通信運搬費、保険代等 ②球技大会 ・ソフトボール、バレーボール大会を毎年開催 ③文化祭 ・文化祭を毎年開催（みらいえで実施予定） ④秋祭り ・10月に秋祭りを開催 ⑤サークル活動 ・詩吟、パソコン勉強会、気功、木工クラブ、毛筆サークル、茶道等のサークル活動を実施 ⑥長寿いきいき費 ・野村地区の高齢者を対象とした敬老会の実施 ⑦広報紙の発行 ・年4回(8,100部)広報紙を発行 ⑧花いっぱい事業 ・野村大橋、西脇市駅、野村公園などへの花植えイベントの実施 ⑨安全対策事業 ・町全体での防災訓練の実施 ⑩イベント事業 ・西脇市駅前イルミネーション装飾の実施 ⑪しばざくら通り夏祭り盛り上げ事業</p>	<p>事業効果 ①各種の活動を通じて、お互いの連帯感と協働意識の高揚が図れる。 ②各種団体との協働やボランティア活動によって世代間を超えた交流が図れ、親睦と調和が生まれる。 ③活動を通じ共同の目的を持った人のつながりができ、互助、共助の精神が芽生える。 ④活動を通じて、コミュニケーションが良好になることで地域住民がつながり、野村地区の今後の展望を考える際に、様々な意見を反映し、話し合いがしやすくなる。 今後の展開 今後はより一層、野村地区まちづくり推進協議会の委員がまちづくり活動についての中心的な役割を果たし、野村地区の活動推進組織として進めていく。委員については任期が終了した後も、事業の継承のために活動に参加し、協働を進めていく体制をつくる。 事業を実施するもの自身が、活動を楽しみ、喜んで参加できるように自由に話し合える会議(場)をつくり、既存の女性会や民生・児童委員、公民館役員、子ども会などと整合性をとり、野村地区住民のまちづくりへの参画を促進していく。</p>	<p>花いっぱい事業の原材料費については、地域住民の労力提供により実施する事業であるため、苗代、肥料代等原材料費の2分の1を超えての補助を要望する。</p>
<p>団体名：芳田ふれあい会議 事業名：芳田地区まちづくり推進事業 実施期間：H30. 4. 1～H31. 3. 31 事業費：1,019,000円 交付要望額：310,000円</p>	<p>芳田地区では「芳田地区まちづくり計画の提案書(平成18年度版)」を実践推進するために、平成18年8月に芳田地区区長会をはじめ芳田地区内の各種団体が結集して芳田ふれあい会議を結成した。そして、平成27年度末には芳田地区の10年先を見通した新たなまちづくり計画である「芳太の里“ゆめ”プラン2015」を策定した。それを受け、プランの具体化、実践をめざし、芳田ふれあい会議が中核となって、これまでの事業の継続及び強化を図りながら、新たな事業の取組も行い、芳田地区のまちづくりをさらに推進していきたいと考えている。</p>	<p>①代表者会議 ・2018芳田ふれあいまつり ②プロジェクト部会 ・公共交通についての調査研究 ・『芳田の里“ゆめ”プラン2015』の見直しと具体化 ・野間川芳田公園清掃 ③地域活性化部会 ・芳田の里花いっぱい事業 ・芳田ふれあい直売所・ふれあいサロンの運営 ・芳田ふれあい直売所の充実 ・芳田クリーン作戦 ④安心・安全部会 ・芳田地区合同防災訓練 ・芳田地区防犯・交通学習会 ⑤イベント部会 ・芳田街道イルミネーション ・角尾山登山道整備 ・角尾山ふれあい登山 ・芳田ふれあいスポーツフェスティバル ⑥各部共通 ・まちづくり先進地視察研修 ・芳田ふれあい会議・各部会の開催 ほか</p>	<p>事業効果 住民間の交流事業を通して、住民相互に連帯感を高めることができ、地区コミュニティの強化が図られ地域の活性化が期待できる。 今後の展開 住民主導で芳田地区ならではの事業展開を今後も継続していく予定であるが、現在、芳田ふれあい会議の事業の中で収益を生み出すものはない。区長会の助成金だけでは事業を縮小していかざるを得ず、補助事業が継続することを望む。</p>	<p>各種事業において、住民参加を広く求めながら、労力を提供してもらっている。経費については以下の費用(原材料費)について、2分の1を超えての補助を要望する。 芳田の里花いっぱい運動 ・花の土、花苗代等材料費 芳田ふれあい直売所の充実 ・防草シート等材料費 芳田の里ふれあいまつり ・コンパネ等資材代</p>

平成30年7月12日

西脇市長 片山象三様

西脇市まちづくり推進審議会
会長 直田春夫

西脇市市民提案型まちづくり事業企画書の審査結果の
答申について

西脇市市民提案型まちづくり事業補助金交付規程に基づき、平成30年度申請について、平成30年7月9日開催の当部会において審査した結果、下記のとおり取りまとめましたので、西脇市まちづくり推進審議会の意見として答申します。

団体名	事業名	事業費 (補助要望額)	補助金額 (補助対象額)	補助率 (%)
西脇市吹奏楽団	西脇市吹奏楽団活動事業	1,002,000円 (300,000円)	300,000円 (812,000円)	29.9
西脇市民オーケストラ	西脇市民オーケストラ活動事業	590,000円 (300,000円)	300,000円 (580,000円)	50.8
へそまち文化新聞編集室	『へそまち文化新聞』 (西脇の文化フリーペーパー) 発行事業	700,000円 (300,000円)	300,000円 (580,000円)	42.8
マザーズスマイル	子ども・家庭・地域支援事業	320,000円 (300,000円)	300,000円 (320,000円)	93.7
まるんぐらっせ	地域歴史を学ぶ講談で地域が元気事業	150,000円 (70,000円)	70,000円 (110,000円)	46.6
合 計		2,762,000円 (1,270,000円)	1,270,000円 (2,402,000円)	—

※ 各団体の補助金等の詳細については、別紙審査個票のとおり。

実施団体	西脇市吹奏楽団 代表 杉本 昌謙 (会員65名)					西脇市民オーケストラ 代表 廣田 昭治 (会員35名)					へそまち文化新聞編集室 代表 越川 誠司 (会員5名)						
事業名	西脇市吹奏楽団活動事業					西脇市民オーケストラ活動事業					『へそまち文化新聞』(西脇の文化フリーペーパー)発行事業						
事業概要	対象地域	市内全域		実施期間	30.4.1 ~ 31.3.31	対象地域	市内外全域		実施期間	30.4.1 ~ 31.3.31	対象地域	市内外全域		実施期間	30.4.1 ~ 31.3.31		
	予算	¥1,002,000	要望額	¥300,000	補助対象額	¥812,000	予算	¥590,000	要望額	¥300,000	補助対象額	¥580,000	予算	¥700,000	要望額	¥300,000	補助対象額
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽を通じて地域文化の振興に寄与することを目的とし、世代を超えて交流を行い次世代へ文化活動を継承していく。 					<ul style="list-style-type: none"> ・市民に愛されるオーケストラを目指して日々成長し、地域に根ざした活動を通して世代を超えた交流を図る。 ・地域の芸術文化の発展に努め、“オーケストラを身近に楽しめるまちづくり”を目指す。 ・音楽が幸せと平和、そして活性化をもたらす原動力になることを目指して活動する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・「日本のへそ」西脇のまちの多彩な文化を取り上げるフリーペーパーを発行し、市民の郷土文化への理解と愛着を育む。 ・また、西脇の魅力的な文化を広く市外(京阪神など広範囲)にも発信していくことで、まちの活性化に繋げる。 						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日を中心とした週1回の練習 ・定期演奏会の開催 毎年定期的に行い、その活動の成果を発表する。 ・兵庫県吹奏楽コンクールへの参加 ・合同練習・合同演奏 近隣の中学校吹奏楽部と練習を行い世代を超えて交流をする。 ・演奏依頼行事への参加 市の行事や施設などからの依頼への参加。 					<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第1・3土曜日 オーケストラ定例練習 ・毎週水曜日 弦楽器初心者練習 ・年2回(8月・1月)定期演奏会 入場無料で広く地域の方々に案内し、オーケストラへの興味・関心を誘う。 ・地域に向かっている演奏(依頼を受けての出演等) (官兵衛まつり、miraieロビーでの演奏、虹の会工房ロビーライブなど) 					<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパー『へそまち文化新聞』を年に2回(春、秋)発行する。 ・市内各所及び市外(兵庫県下、神戸、大阪、京都、東京ほか)の書店や美術館、ギャラリー、文化施設などに配布する。 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会では年齢を問わず広く吹奏楽を聞いていただける。 ・大きなホールで生演奏を聞く楽しさを市民の皆さんに身近に感じ楽しんでいただき、市民の交流の場とする。 ・音楽ホールでのマナーやルールを知っていただき文化意識の向上を図る。 ・吹奏楽の練習では世代を超えた交流を図ることができる。 ・お互いに刺激を受けながら練習を行う中で、一体感を共有し、相互に演奏技術を深める。 ・演奏技術は個人技量であるが団体行動を伴う団の活動で協調性を養う。 					<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者までが、いきいき輝き活動する姿は“まちづくり”の根幹。それぞれが目標を持ち、仲間と協力して自己研鑽に努める音楽活動は、地域の方々の元気や心の和みとの声が届き、団員の励みとなっている。 ・地域のイベントや音楽交流の場に積極的に参画し、共に事業を盛り上げ、成果に協力している。 ・初心者でも参加ができる垣根の低いオーケストラとしてスタートし5年目を迎える。年に2回開催する定期演奏会等の効果で演奏力も徐々に向上してきた。また、地域での演奏会を通して、新たなメンバーも入団した。 					<ul style="list-style-type: none"> ・西脇の様々な文化を毎回紙面で紹介、発信していくことで、市民による文化活動の更なる発展、並びに市の知名度の向上を図り、市内観光、住民交流の促進等の効果も期待できる。 						
事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシック曲からJazzやポップス、演歌など幅広いジャンルの曲を練習し発表している。 ・同じ舞台上に世代の違う団員と一緒に登り練習、演奏を行っている。 ・市内の吹奏楽部に在籍する中学生、高校生や吹奏楽を愛好する方々が生涯にわたって活動を行うことのできる環境の選択肢の一つになることを目指している。 					<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等にも要請を受けて出張演奏し、地域住民の音楽への興味関心を高め、ひいては地域を活性化し、まちを元気にする。 ・西脇市・近隣市民が気軽に参加できる、また初心者も安心して入団できる垣根のないオーケストラ。また、子育て世代が子どもと練習に参加できる体制(託児ボランティアの協力あり) ・子どもから高齢者まで分け隔てなく入団でき、多世代間交流が図れる。 ・童謡、流行歌、ポピュラー、クラシック等幅広いジャンルを演奏する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・西脇市には豊富な文化的資源があり、西脇市出身の文化人・芸術家も数多い。播州織ブランドを含め、“文化と工芸のまち”“クリエイティブな人材を育み、また人材が集まる創造都市”＝西脇のブランディングを行う地域メディア、PR紙として、ささやかにでも小紙が貢献できればとの思いである。 						
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・定期演奏会を継続していけるように練習を続けていく事は勿論、プロ演奏を招いての演奏会も今後の目標としており、聞く側にも共演する側にも大きな得るものがあると考えている。 ・西脇市や多可町など市内外を問わず吹奏楽での交流を図り西脇市の文化振興に寄与する。 					<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラ演奏力の向上を目指す。 ・地域のイベントや演奏の要請に応じて積極的に参画をし、西脇市民オーケストラ活動を広めていく。 ・音楽を中心とした活動を通じて地域を活性化し、まちを元気にしていく。 					<ul style="list-style-type: none"> ・紙面内容をより充実させ、西脇の文化を発信する地域紙として定着を図る。 ・市出身の文化人の方々にも紙面を送付したり、原稿を依頼したり、取材をしたりするなど市民と繋ぐツールとしても機能させ、“創造都市”＝西脇の更なる発展に寄与できればと考える。 						

実施団体	マザーズスマイル 代表 森脇 登志子 (会員35名)					まろんぐらっせ 代表 藤井 誠 (会員10名)					
事業名	子ども・家庭・地域支援事業					地域歴史を学ぶ講談で地域が元気事業					
事業概要	対象地域	市内外全域		実施期間	30.4.1 ~ 31.3.31	対象地域	市内全域		実施期間	30.6.8 ~ 30.9.30	
	予算	¥320,000	要望額	¥300,000	補助対象額	¥320,000	予算	¥150,000	要望額	¥70,000	補助対象額
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 子ども、家庭、地域とのつながりを大切に、子育て支援を通してまちづくりを目指す。 子どもたちが心身ともに健やかに成長するための『体験の場作り』、親子・家庭でのコミュニケーション講話、地域における異世代交流等を通して家庭の教育力・地域の教育力の向上を目指す。 					<ul style="list-style-type: none"> 平成15年から実施している講談の会を本年度も開催することにより、日本古来の伝統芸能を通じた文化の向上と地域歴史の伝承を図る。 また、地域住民の交流の場とする。 					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 親子ふれあいコンサートの実施 親子を対象とした食育や野外活動の実施 出張事業 こども園や幼稚園、いきいきサロン等で交流活動や伝承劇などのプログラムを実施 					<ul style="list-style-type: none"> 第12回講談の会の実施 日時：平成30年7月13日(金)19時開演 対象者：全市民が対象(一部多可町民も参加) 場所：日野地区会館サンパル日野 1階 出演者：講談師「旭堂南海氏」 演目：「西郷どん」「播磨の國多可郡日野村大木『甘目一神社縁起』」 					
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 直接、本物の文化に触れることで、心豊かな感性を育み表現力を養うことができる。 親子で鑑賞することにより、親子のつながりを深めるきっかけ作りができる。 自分の身体にとって大切な事が何かを知ることにより、生活習慣やコミュニケーション力を見直し向上することができる。 伝統文化を知ること、現在もしくは未来を考えるきっかけとする。 各活動を計画する中で、社会参画する場の提供を担う。 					<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題のNHK大河ドラマ「西郷どん」、地域文化の伝承「播磨の國多可郡日野村大木『甘目一神社縁起』」を講談という形で演じ、観る・聴くことにより、地域の歴史知識の向上と郷土愛を高めることができ、もって、住みよい地域づくりに貢献できる。 					
事業の特色	<ul style="list-style-type: none"> 身近で、かつ安価でコンサートを実施することにより、本物の音楽・文化に触れる機会を得ることができる。 生活習慣の見直しや健康に関してなど、学習色の強い内容を、参加型やシアター形式で実施することにより、楽しみながら学び合うことができる。 孤独になりがちな子育て中の保護者の居場所の提供。 様々な知識を伝えることにより、少し先の未来に目を向ける機会を提供することができる。 					<ul style="list-style-type: none"> サンパル日野を拠点として、サンパル日野での文化発表の場等で環境やオレオレ詐欺など身近な課題の寸劇を行ったり、国道427号交差点の季節の花の植栽などのボランティア活動行ってきたグループ「まろんぐらっせ」による手づくり講談の会も今年で12回目となる。 講談師には西脇市でも昵懇の「旭堂南海」氏に低価格で出演いただける。 活動は、市内や多可町などで同様の活動を行っているグループとの交流の場にもなっている。 					
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 活動の趣旨をより多くの方に伝えていく。 ポスターやちらし等で周知する。 健康劇や伝承劇等の実施に向け、こども園等に働きかける。 周知のための情報提供の方法を工夫する。 在宅親子等のつながりの輪を広げ、子育て支援の居場所づくりとする。 					<ul style="list-style-type: none"> 講談の会も12回目と定着してきたことから、日野地区まちづくり協議会「よいとこちがうか日野の里」の文化事業として継続開催していくことができないか調整を考えている。 					